



# アウル通信

2020.4.1 発行 第216号

『96歳の婦長さん』

わたしが、特別養護老人ホームの寮父時代にお世話になった看護師（当時は婦長）さんがいます。当時は、看護と介護の間で、お互いの正しさばかり主張して、なかなか折り合いがつかないことだらけで、ことある毎に衝突していました。衝突の要因は、それぞれの持つ専門性の主張でした。

しかし、話し合いの繰り返しの結果、次第に焦点を自分たちの専門性の主張ではなく、お爺さんお婆さんにとて何がベストなのか目的に、それぞれの専門性をどう發揮していくかに焦点を当てて話をしてゆくと、お互いの実際の看護や介護がうまくかみ合うように変わっていきました。その方にとって、とてもいい感じになっていたのを覚えています。

その基本となったのが、どこに焦点を合わせるかでした。人はそれを目標、目的、到達点、目指す方向、理念などなど様々に表現されますが、その本質は、今日の前にいる方の“生きる幸せ”にどう応じるかだと思います。そしてお互いの仕事の目的を共有することで、互いの人格を尊重する関係へと繋がっていました。

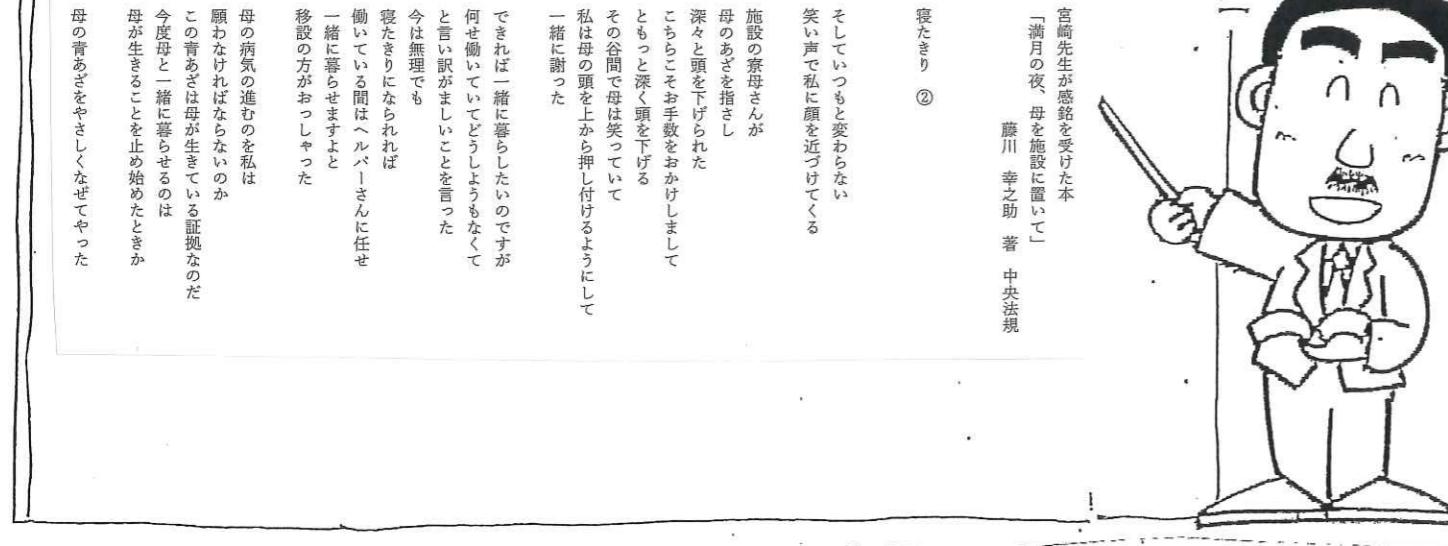
その婦長さんは、今現在、96歳で現役の看護師さんとして、デイサービスセンターで利用者様の健康をチェックするなどの仕事をしています。凄いです。僕は尊敬を通り越して、神様だと思っています。

わたしの「人」としてのお手本は婦長さんです。

わたしたちは、パズルのピースのひとつです。それぞれがそれぞれの場所で輝くように生きることではないでしょうか。わたしたちの前にはいろんな壁が立ちはだかります。でもどの壁も「お互いに補い合うことで乗り越えられる壁」ばかりです。きっとわたしたちは、この壁に立ち向かえられるように、バラバラな形をしているのだと思います。お互いの穴や凹みを補えるように。

感謝

アウル 宮崎直人



## 〈今月の出来事〉

○ひな祭り

○誕生会

〈実習生〉

今月、実習生はありません。



## 《編集後記》

今月の題字は、野口恵子様に  
書いて頂きました。  
新型コロナウイルスに感染しないよう  
充分に注意してください。



発行責任者

宮崎 直人

3月3日

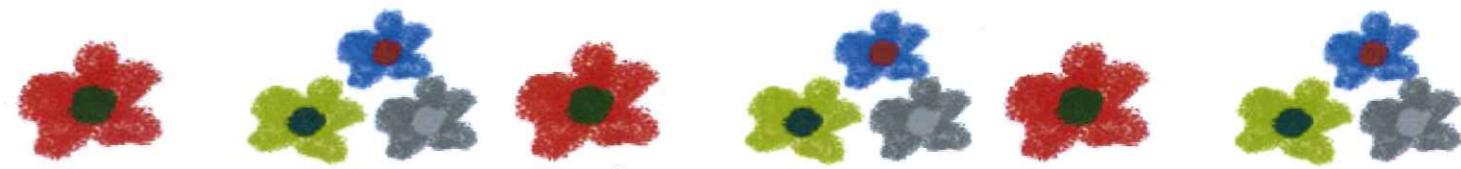
# ひなまつり

あかりも  
ツウマレバ  
ぱんぱりに  
♪ ♪

ひな祭りケーキも  
美味しく頂え  
ました。

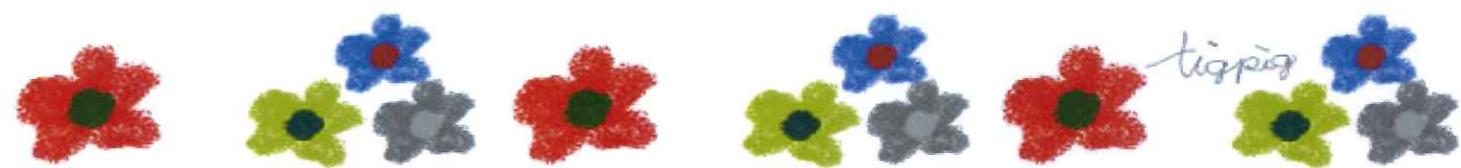


# Happy Birthday



長内 棚様  
昭和4年3月11日

91歳



ご家族の皆様へ

今日、全国的に新型コロナウイルスが流行って  
おります。芸能人が亡くなったり猛威を  
振るつてゐる状況です。

引き続き、ご家族の皆様へ、ご協力を頂え  
ながら、ご本人様の体調を十分に注がれて  
下さい。おしくお願ひ致します。

